

**第12回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯  
HPDU Competition 2023 (Co-sponsored by HPDU and ESUJ) 実施要領**

※ 政府の新型コロナウイルス感染予防対策の変化に応じ、全チーム宿泊、全食事の提供、予選16位～9位のチームによるトーナメント2の実施、英国ディベーターによるワークショップの実施等、昨年発表したものから変更した点があります。特に開催日も3月25日（土）からに変更になりましたので、ご注意ください。

共同主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟(HPDU of Japan)

一般社団法人 日本英語交流連盟 (The English-Speaking Union of Japan)

後援(申請予定)：文部科学省 (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)

ブリティッシュ・カウンシル (British Council)

カナダ大使館 (Embassy of Canada to Japan)

特別協賛：有限責任 あずさ監査法人 (KPMG AZSA LLC)

協賛：公益財団法人 日本英語検定協会 (Eiken Foundation of Japan)

iae グローバルジャパン株式会社 (iae GLOBAL JAPAN, Inc)

株式会社テレビ東京 (TV TOKYO Corporation)

キヤノン株式会社 (CANON INC.)

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 (Canon Marketing Japan Inc.)

株式会社トモノカイ (Tomonokai Co.,Ltd.)

メディアパートナー：読売新聞社 (THE YOMIURI SHIMBUN)

協力：株式会社アルク(ALC PRESS INC.)

イーエムティー株式会社(Energy Management Technologies KK)

エイムネクスト株式会社 (AIMNEXT Inc)

株式会社オールアバウト (All About, Inc.)

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 (Japan Philharmonic Orchestra)

## 1 趣 旨

全国の高校生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することにより、グローバル社会で活躍するのに必要とされる英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、クリティカル・シンキング、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアなどを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を養う。また、参加者間の交流を図り、共に学び合う関係を作る。

## 2 日 時・場 所

2023年3月25日（土）15:00～27日（月）17:00

会場：オリンピック記念青少年総合センター 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

※3月25日は、センター棟417に午後3時～3時20分に集合

### 3 内容

- ① World Schools Debating Championships(WSDC) Style (但し本大会用に修正を加えたもの) による英語ディベート大会 [予選は4試合行われ、2、3、4試合目はパワーペアリングとなる。順位は、各チームの勝ち数と得点ポイントで決定し、ベスト8チームによる決勝トーナメントとベスト9～16チームによるトーナメント2を実施する。]
- ② パーラメンタリーディベートのスキル向上のためのワークショップ及びモデルディベート
- ③ 協賛企業による「今必要とされる人材」について等のプレゼンテーション

### 4 参加資格

日本に住所がある高校に在学している学生(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)のうち、日本高校生パラメンタリーディベート連盟に公式認定された各都道府県大会に参加して出場権を獲得した者、または本連盟より特別に出場権を与えられた者(同一都道府県内の上場希望校が1校であった場合など)。

同一校のチームの参加とする。ただし、英会話スクールなど高等学校以外の団体は例外とする。

### 5 参加費

1チームにつき18,000円(選手及び引率者の大会中の食費と宿泊費を含む。)

### 6 大会の時程 (大会の進行状況等により変更される可能性があります。)

#### 第1日目 開会式・モデルディベート

- 15:00 受付、入場(センター棟417にて)
- 15:30 開会式
- 16:20 プレゼンテーション① 公益財団法人日本英語検定協会  
引率者ミーティング(センター棟416にて)
- 17:00 宿泊施設チェックイン、夕食(センター棟2階カフェテリア「ふじ」にて)
- 19:00 UK&日本人ディベーターによるモデルディベート(センター棟417にて)  
プレゼンテーション② iaeグローバルジャパン株式会社
- 21:00 伝達後解散

#### 第2日目 予選

- 7:00 朝食(カフェテリア「ふじ」にて)
- 8:45 第1試合の対戦表・論題発表(準備時間20分)
- 9:10 第1試合開始(試合後ジャッジによる勝敗の説明 約30分)
- 10:50 第2試合の対戦表・論題発表(準備時間20分)
- 11:15 第2試合開始(試合後ジャッジによる勝敗の説明)
- 12:35 昼食(カフェテリア「ふじ」にて)
- 14:00 第3試合の対戦表・論題発表(準備時間20分)
- 14:25 第3試合開始(試合後ジャッジによる勝敗の説明 約30分)
- 16:05 第4試合の対戦表・論題発表(準備時間20分)
- 16:30 第4試合開始(試合後勝敗の発表なしのアドバイス 約20分)
- 17:40 夕食(カフェテリア「ふじ」にて)
- 19:00 ワークショップ(センター棟417にて)  
プレゼンテーション③ 株式会社トモノカイ
- 20:30 伝達後解散

### 第3日目 決勝トーナメント、トーナメント2(ベスト9～16のチームによるトーナメント)

- 7:00 シーツ回収、朝食(カフェテリア「ふじ」にて)
- 9:00 集合、点呼
- 9:10 トーナメント出場チーム発表
- 9:30 準々決勝 対戦表・論題発表(準備時間25分)
- 10:00 準々決勝 試合開始、英国人ディベーターによるワークショップ
- 11:05 準決勝 対戦表・論題発表(準備時間25分)
- 11:40 準決勝 試合開始
- 12:20 昼食(カフェテリア「ふじ」にて)
- 13:30 決勝 対戦表・論題発表(準備時間25分)  
プレゼンテーション④ 株式会社 テレビ東京
- 14:00 決勝 試合開始
- 15:30 閉会式 表彰
- 16:30 解散

### 7 試合形式

[対戦組み合わせについて]

第1 試合の対戦組み合わせは事前にランダムで決める。予選2～4試合目はパワーペアリングによって決める。予選4試合の勝敗数、そして勝敗数が同じチーム間ではスピーカーズ・スコアの総得点で、予選の順位を決定する。上位8チームが決勝トーナメントに進出し、準々決勝では予選の成績が良かった順に1～8の番号を振り、以下の通りで対戦を行う。トーナメント2の対戦組み合わせもこれと同様に行う。

準々決勝 A: team 1 対 team 8      準々決勝 B: team 2 対 team 7  
準々決勝 C: team 3 対 team 6      準々決勝 D: team 4 対 team 5

[試合開始前の準備時間について]

論題は、予選では試合開始の20分前に発表される。論題発表後以降は、ディベーターはチームメイト以外の人との相談は禁止とする(顧問との相談も禁止)。

決勝トーナメントでは、準備時間は25分とする。高価な道具を用意できたかどうかによって勝敗が左右されることがないように、論題発表以降は、ストップウォッチ、電子辞書専用機を除いた電子機器の使用は禁止する。

[スピーチの順番および時間]

試合の流れ 準備時間 第一日目20分、第二日目25分

- 1) 1st Affirmative Speaker 【5分】
- 2) 1st Negative Speaker 【5分】
- 3) 2nd Affirmative Speaker 【5分】
- 4) 2nd Negative Speaker 【5分】
- 5) Government Whip 【5分】
- 6) Opposition Whip 【5分】
- 7) Opposition Reply 【4分】
- 8) Government Reply 【4分】

\*決勝のみ Constructive Speech を各7分とします。

最初の 6 つのスピーチ(Constructive Speech)の時間は各 5 分間、ただし決勝ラウンドのみ各 7 分間。Reply Speech は 4 分間。各 Constructive Speech の最初と最後の 30 秒間 (決勝戦のみ 1 分間) を除いた時間では、対戦相手のチームは Point of Information (質問、反論、コメント) を行うことができ、Point of Information がスピーカーから許可された場合、最長で 15 秒間話することができる。

Reply Speech は、チームの 1 人目または、2 人目のスピーカーのいずれかが行い、Whip Speaker が Reply Speech を行うことはできない。

[スピーカーの役割]

- 各チーム最初の 2 人のスピーカーは、それぞれ肯定または否定側の議論を示し、また相手チームの議論に必要な反論をする。
- 3 人目の Whip speaker は、主に相手チームの議論への反論、そして反論された内容を受けての議論の立て直し、及び論点の整理を行う。より詳しいやり方については、HPDU のホームページの「参考資料」内「Whip を極める」を参考にして下さい。
- Reply Speech では、どうして自分たちのチームがその試合で勝利したのか、いくつかの争点に絞って説明を行う。

8 評価方法

[勝敗について]

- 各試合では、勝敗と各スピーカーの個人得点が決められる。
- Constructive Speech では、右の表で示すとおり、75 を基準に上下 8 点の幅で各スピーチに得点が与えられ、Reply speech では、37.5 を基準に上下 4 点の幅で得点が与えられる。
- 予選ではジャッジが試合終了後に口頭で試合の勝敗とその理由を説明する。

Standard	Overall
Excellent	82-83
Good	79-81
Above Average	76-78
<b>Average</b>	<b>75</b>
Below Average	72-74
Poor	69-71
Extremely Poor	67-68

Standard	Overall
Excellent	41 – 41.5
Good	39.5 – 40.5
Above Average	38 – 39
<b>Average</b>	<b>37.5</b>
Below Average	36 – 37
Poor	34.5 – 35.5
Extremely Poor	33.5 – 34

9 その他の注意事項

- 当日は、顧問の方、もしくは保護者の方をご引率ください。
- 本大会では、他のパラメンタリーディベートの大会と同様、論題発表後の準備時間そして試合中にチームのパートナー以外の者と口頭、メモ、その他の電子的な手段で相談をすることを禁じます。
- ディベーターは準備時間内にチーム内の者以外と相談することはできません。
- ディベーターは準備時間内そして試合中に、電子辞書を除いた電子機器(例 インターネット接続機能を持ったタブレット・コンピューター等)を使用することはできません。
- ディベーターはストップウォッチかタイマーを持参してください。試合中にストップウォッチとして携帯電話を使用することも禁じます。上記のように電子辞書の使用は可能ですが、タブレット型端末(iPadなど)の辞書アプリの利用は禁止します。
- スピーチ中のチームメイトにメモ等でコミュニケーションをはかることを禁じます。
- Point of Order (試合中に対戦相手のルール違反を指摘する行為) は禁止します。ルール違反があった場合、ジャッジが判断をするものとします。試合進行上支障をきたすルール違反があった場合、ジャッジが

適切な処置をします。

- **Constructive Speech** に対して**Point of Information (POI)** を行う場合「Point」「Point of Information」といった表現で **POI** による発言の許可をスピーカーに求めてください。5分間の最初と最後の30秒間（決勝は7分間なので最初と最後の1分間）は **POI** 不可。 **POI** により発言を許可された者は、15秒間だけ発言を許されます。**Reply Speech**に対しては**POI** 不可。
- 相手チームの顧問の承諾なしに、他校の生徒のスピーチを録音、撮影、録画することは禁止です。
- **HPDU**や**ESUJ**の記録担当が撮影したものに関しては、後日、**HPDU**や**ESUJ**のホームページ、後援・共催・協力団体への報告書、**HPDU**や**ESUJ**についての説明会や講演及び記事や書籍で使用することがあります。こちらに同意していただくことが、本大会の参加条件になっています。
- 大会の様子は本大会のメディアパートナーである読売新聞社が取材し、同社の媒体で紹介される予定であり、写真撮影も行うことをご了承ください。読売新聞の記事に関しても **HPDU** や **ESUJ** の報告書などで使用することがあります。こちらに同意していただくことも本大会の参加条件となっています。その他、主催者が取材を許可したメディアについても同様です。ただし、大会そのものではなく、特定の参加校や個人の取材については、対戦校の顧問と選手の同意を要します。
- 急な発熱などにより選手を変更せざるをえない場合は、開会式の開始までに連絡してください。代替りの選手が見つからず、2名以下での参加となってしまった場合は、個人賞の対象にはなりますが、優勝トーナメントには出場できません。
- 引率をつけることは出場条件であり、引率の方の体調が良くない場合は、代替りの方（保護者も可）をお願いいたします。

## 10 新型コロナウイルス対策に関するお願い

コロナの状況によっては、以下のような対策を実施する予定です。

- 各校からの参加は、登録選手3名と引率の方1名のみといたします。その他の見学は基本的に認めません。各教室に入れるのは、選手、引率、ジャッジ、大会運営の関係者のみとします。さらに、飛沫感染防止のため、相手チーム、ジャッジとの距離は2m以上離れるように設置いたします。
- 各自で必ずマスクと消毒用アルコールを持参することを出場条件といたします。マスクは食事の時以外は、必ず着用していただきます。手洗いや飲食の前後には必ず各自でアルコール消毒を行ってください。
- 宿泊される方は各自、体温計をお持ちいただき、最低でも就寝前と起床時に検温してください。発熱が確認された場合、顧問の先生は運営本部に必ず報告してください。
- 発熱など体調が良くない方は欠席してください。

## 11 各種教育奨励賞（実施状況により若干の変更の可能性があります。）

- 1) **ESUJ 賞**：優勝チームのディベーター1名につき教育奨励金として10万円贈呈。総額30万円。
- 2) あずさ監査法人賞：参加者全員にパラメンタリーディベート練習用テキストを贈呈。
- 3) 日本英語検定協会賞：予選ベストスピーカー賞受賞生徒、決勝トーナメント出場校に図書カードを贈呈。
- 4) 日本フィルハーモニー交響楽団賞：上位4チームにコンサートチケットと音楽CDを贈呈。
- 5) キヤノン賞：優勝チームにデジタルカメラとSDカードを贈呈。
- 6) キヤノンマーケティングジャパン賞：準優勝チームにスマホ専用ミニフォトプリンターを贈呈。
- 7) アルク賞：予選大会ベスト16以上のチームに書籍を贈呈。

## 12 第12回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯（HPDU杯）実行委員および役員

委員長 北原隆志（渋谷教育学園渋谷中学高等学校教諭、HPDU 理事長、ESUJ 特別参与）  
事務局 古賀記洋子（日本大学第一高等学校教諭、HPDU 理事、HPDU 事務局長）

- 吉野舞起子 (ESUJ 事務局長、ESUJ 理事)
- 実行委員 小林良裕 (豊島岡女子学園中学高等学校教諭、東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士課程在籍、HPDU 理事、ESUJ 特別参与)
- 前田 和 (埼玉県立久喜北陽高等学校教諭、HPDU 理事)
- 浜野清澄 (さいたま市立浦和高等学校教諭、HPDU 理事)
- 西崎真広 (帝京大学中学校・高等学校教諭、HPDU 理事)
- 天海揚介 (OBOG 代表、HPDU 理事)
- 須田智之 (筑波大学附属駒場中・高等学校教諭、HPDU 理事)
- 大関朝美 (富士見中学校高等学校教諭、HPDU 理事)
- 河野 周 (聖光学院中学校高等学校教諭、HPDU 理事、ESUJ 特別参与)
- 土屋紀子 (渋谷教育学園渋谷中学高等学校講師)
- 名誉顧問 明石 康 (公益財団法人 国立京都国際会館理事長、ESUJ 副会長、元国連事務次長)
- 沼田貞昭 (ESUJ 会長、元駐カナダ大使)
- 監事 油井直次 (元公益財団法人 日本英語検定協会会長)
- 顧問 加藤一郎 (千葉大学客員教授、元全農代表理事専務)
- 新庄一郎 (弁護士、元検察庁検事正)
- 酒井弘行 (公認会計士、元 KPMG ジャパン日本代表、元あずさ監査法人理事長)
- 下野雅承 (元日本 IBM 社長)
- 讃井暢子 (元一般社団法人 日本経済団体連合会常務理事)
- 大会主顧問 岡田真樹子 (ESUJ 常務理事、元山梨英和大学教授)
- 大会特別顧問 綾部 功 (東海大学文学部英語文化コミュニケーション学科准教授、ESUJ 理事)
- 中川智皓 (大阪府立大学工学研究科機械工学分野准教授、PDA 代表)
- 西日本代表 西山哲郎 (静岡聖光学院中学校・高等学校校長補佐)
- 四国・九州代表 加藤 彰 (九州大学 非常勤講師/学術研究者)
- チーフコーチ 小野暢思 (合同会社 Tokyo Debate Academy 代表)
- ・2014 年 ESUJ 大学対抗ディベート大会優勝、2016 年 ESUJ 社会人英語ディベート大会優勝、2017 年第 20 回記念 ESUJ 英語ディベート大会優勝など、国内外の各種パラメンタリーディベート大会で優勝、32 回 ベストスピーカー賞、28 回・2015 年パラメンタリーディベート世界大会 (World Universities Debating Championship) ESL 部門 Quarter Finalist、EFL 部門 4th Best Speaker・各種セミナーの講師を務める。

※HPDU の大会は全てボランティアにより運営されています。